



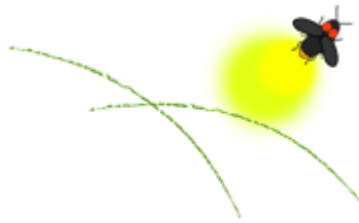
おにぎり通信

2018年6月16日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

6月は雨が多く、とても生活するのが大変な季節です。心身共につらい季節ですが、あじさいの美しさやホテルの美しさも見られる季節です。身近な季節のうつろいに、しばし心をよせてみるのもよいのではないのでしょうか。

今年の夏至は6月21日(木)です。私たちも訪問をさせていただいているとき、明るい時間が長くなったことを実感します。



☆6月4日(月)の福祉行動報告 どなたもお見えになられませんでした。

次回の福祉行動：6月18日(月)

朝8時30分までに東京駅丸の内南口地下に集合してください。(※集合場所が北口から南口に変更になりました。ご注意ください。)蒸気機関車の車輪が展示してある前に「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。

病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒にご希望の福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います(月曜日が祝日のときは火曜日)。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄りの福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南 1-2-1 3階

ちちひ 父の日

6月の第3日曜日は、父の日です。父の日は、母の日が先にあり、1909年にアメリカ・ワシントン州スポケーンのソノラ・スマート・ドットという人物が、自分たち6人兄弟を男手一つで育ててくれた父を讃えて、父の誕生日である6月に教会の牧師に礼拝をしてもらったことがきっかけではじまりました。その思いは時を経て、大統領のところまで届き、1916年、アメリカ合衆国第28代大統領ウッドロー・ウィルソンが、スポケーンを訪れて父の日演説を行うに至り、このことから、父の日が認知されるようになったそうです。そして、1966年、アメリカ合衆国36代大統領リンドン・ジョンソンが、父の日を称賛する大統領告示を発し、6月の第3日曜日を父の日に定め、1972年になり、アメリカでは正式に国の記念日に制定されました。日本の父の日もアメリカに倣い、同じ日になっています。一人の女性の熱意が世界を動かした素晴らしい出来事ですね。

父の日、母の日というと、肉親だけを思い出しがちですが、家庭の事情で、肉親である父親を知らない子どものあるエピソードがあります。その子どもは、第二次世界大戦後の占領期にアメリカ兵の父と日本人の母との間に生まれ、「混血児」の養育施設に預けられました。その子どもが周囲の町の子どもの父親がいないことを理由にいじめられたとき、その子どもは、キリスト教の「主の祈り」という祈りの「天の父」という神さまのことを指す言葉をもちだし、「主の祈りを知らないの？」「天にまします、われらの父よ……。あるじゃないか、僕たちのお父さんは天の父なんだから」と切り返したそうです。祈りの言葉がこの子どもに与えた影響の大きさに驚くと同時に、家族や人間のつながりが肉親にとどまらず、豊かにある世界を感じるエピソードです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535